

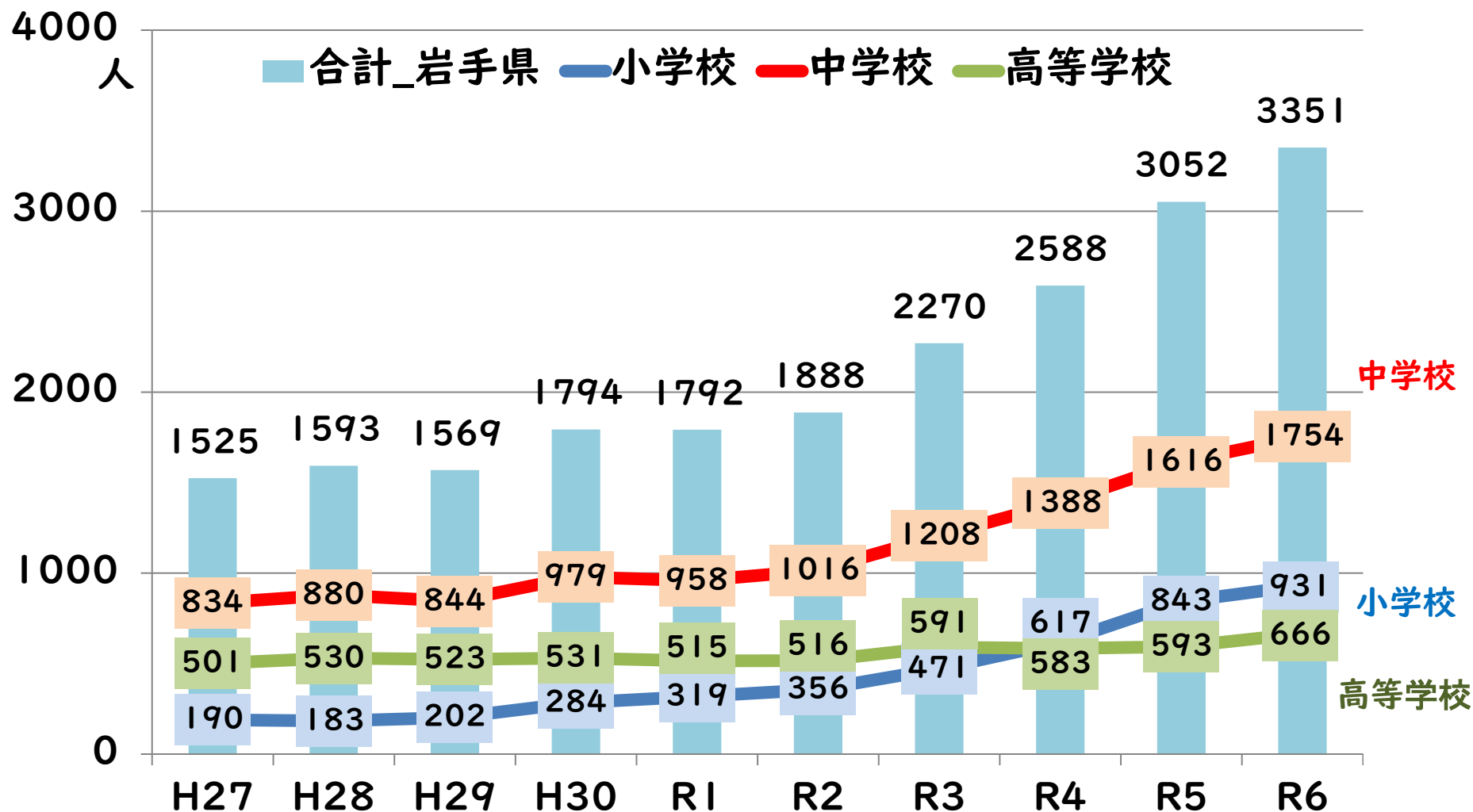
多様な学びの場の確保について



岩手県教育委員会事務局 学校教育室

岩手県の不登校児童生徒数の推移 (H27～R6)

不登校児童生徒数_岩手県校種別 (国公立)



「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果 (文部科学省) から作成

いわて県民計画（2019～2028）第2期アクションプラン

教育支援センター



<課題>

本県の不登校児童生徒数は増加傾向にあることから、専門職と連携した学校の教育相談体制や、学校以外の相談機能の充実を図り、不登校の未然防止や、発生した場合の適切な支援に一層取り組む必要があります。

教育委員会



<取組①専門的見地からの支援>

学校生活に不安や悩みを抱えている児童生徒の状況に応じた専門的見地からの支援を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、24時間子供SOSダイヤル相談員等を配置しています。

<取組②教育相談体制の充実>

学校の教育相談体制の充実を図るため、学校心理士の資格を持つ教育相談コーディネーターを養成するとともに、教員の資質を高めるための研修を実施します。

<取組④>関係機関との連携

不登校児童生徒の一人ひとりの状況に応じて、教育支援センター、フリースクール等民間団体等の様々な関係機関と連携し、ICTを活用した学習支援など、多様な教育機会を確保するとともに、不登校児童生徒の社会的自立への支援に取り組みます。

家庭



学校



<取組③学校内での居場所づくり>

オンラインやICTの活用を視野に入れ、校内の別室を活用した「校内教育支援センター」の体制整備の支援を図り、学校内の居場所づくりに努めます。



関係機関₃

不登校支援ポータルサイト、支援ガイドブックによる情報発信

- 令和7年度にポータルサイトを構築。
- 「子どもたちの社会的自立に向けた多様な学び支援ガイドブック」は、不登校支援フォーラム等を通じて、広く県民へ情報提供を行っていく。

【岩手県不登校支援ポータルサイト】

ページ番号1090334 更新日 令和8年1月29日

印刷 大きな文字で印刷



岩手県
不登校支援ポータルサイト

～不登校に関する各種情報はここから～
不登校に関する様々な情報を得るための入口になるサイトです。

◆子どもたちの社会的自立に向けた多様な学び支援ガイドブック◆

不登校に関する情報が掲載されています。

子どもたちの社会的自立に向けた 多様な学び支援ガイドブック

～不登校に関する情報～



支援ガイドブックのダウンロードはコチラ (PDF 2.1MB)

子どもの状況を踏まえた支援を選べます

自立への道のりは一人一人違います。登校を支援するのか、学校外の支援機関につなげるのか、休養を優先するのか、それぞれの心身の状況変化を見守りながら、(1)～(4)のような支援を行うことができます。

(1)学校に行くことはできるが、教室に入ることが難しい

別室登校や時差登校など、無理のない登校方法等について、学校や教育委員会と相談することができます。



こちらについて詳しく知りたい方はコチラ

(2)比較的外出はできるが学校に行くことが難しい

教育支援センターで学習支援を受けることができます。一人一人に合わせて個別学習等を行うことができます。



こちらについて詳しく知りたい方はコチラ

夜間中学校に関するアンケート結果

■調査依頼機関

実施年度	調査依頼関係機関	
H 2 8 ~	・ 各市町村教育委員会	・ 県国際交流協会
R 4 ・ R 5	・ 各市町村国際交流協会 ・ 県社会福祉協議会 ・ 県内フリースクール	・ 県内日本語教室 ・ 各市町村社会福祉協会

■調査対象

- A 戦中戦後の混乱のため中学校を卒業できなかった方
- B 不登校や家庭の事情などにより、授業を十分に受けられないまま中学校を卒業した方
- C 外国人または日本国籍であるが日本語が不自由なまま義務教育期間を過ごした方で、義務教育程度の卒業認定を受けたい、または学び直しを行いたいと思っている方
- D その他（現在不登校のため、中学校の授業が十分に受けられていない方など）※令和5年度から追加

夜間中学校に関するアンケート結果

■個人調査の結果

主な配布方法	回答数	回答方法別（回答数に占める割合）		
		インターネット	FAX 郵送	団体を通じて PDF 送付
・各団体による直接配布 ・民生委員会議等での配布 ・市町村窓口、公民館等に配架 等 ※配布数 977 ・県 HP による周知	293	99 (34%)	24 (8%)	170 (58%)

質問2 あなたは夜間中学で学んでみたいと思いますか。 または、あなたのまわりに、夜間中学を必要として いる方はいますか。	自分が 学びたい	身近な人が 必要と している	必要として いない	質問2 無回答	計
	13 4.4%	38 13.0%	230 78.5%	12 4.1%	293

■令和5年度調査のまとめ

- ・「身近な人が必要としている」と答えた方で顕著なのは、現在不登校の学齢生徒の関係者であった。 ※38人中32人（84%）
- ・個人調査の結果から、「夜間中学で学んでみたい」という回答が少数ではあるが見られた。
- ・人口比率の高い盛岡市周辺にニーズが多く見られるとともに、県内各地に分散していることも見受けられた。

夜間中学のニーズについては、令和8年度調査を実施中であり、令和7年国勢調査の結果と併せ、本県における夜間中学の在り方の検討材料とする予定。

学びの多様化学校の概要

- ・R5に「不登校特例校」から名称変更
- ・文科大臣の指定に基づき、**不登校児童生徒等**の実態に配慮した**特別の教育課程**を編成して教育を実施することができる学校
- ・指導上の工夫
 - 起立性調節障害等の生徒に配慮した**始業時刻**の設定
 - 卒業認定に向けた**柔軟な時間割**設定（45分授業等）
 - 少人数指導や習熟度別指導
 - 家庭訪問や保護者への支援
 - 学校外の学習プログラムの積極的な活用 など
- ・他の生徒と対面しない等の学校内の**動線的な配慮**が学校指定の審査事項の1つ

学びの多様化学校の設置状況

学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の設置状況 (令和8年4月時点)

※ 令和8年度に開校する学校の新規指定後

学校種別設置状況

	都道府県立	市区町村立	私立	合計
小学校	0	5	3	8
中学校	2	42	9	53
小中一貫校	0	8	1	9
高校	2	0	12	14
合計	4	55	25	84

都道府県立高校の2校は
【コース指定型】 (令和7年度設置)
福岡県立小郡高等学校
【分校型】 (令和8年度設置)
大阪府教育センター附属高等学校窓明分校

31都道府県
12政令指定都市
計84校

青森 私立高校 1校
岩手 なし
宮城 公立中学校 1校
公立小中一貫校 1校
仙台市 私立小学校 1校
秋田 私立高校 1校
山形 公立小中一貫校 1校
福島 公立中学校 1校

岩手は、県立高校への
設置を目指す。

令和7年度までに設置している地域
令和8年度4月に新たに設置する地域

○は政令市を表す

他県事例（福岡県立小郡高校）

- 1 設置形態：[コース指定型] 県立高校全日制普通科学級増
- 2 対象者：中学校等において年間30日以上欠席した不登校生徒又はそれに相当する者
- 3 通学区域：県内全域
- 4 学びの特長
 - (1) 在校生との動線を分ける。
 - (2) 始業は9時～10時程度、1日45分×5コマ
 - (3) 教育課程の工夫（学校設定科目）
 - ・ 国語、数学、英語についての学び直し科目
 - ・ 始業前・終業後の学習の見通しと振り返り（2単位の科目）
 - ・ ソーシャルスキルトレーニング科目

※ 本県としては、他県事例も参考に令和10年4月設置を目指す。

第1回学びの多様化学校設置検討会議

- 1 開催日：令和8年4月23日
- 2 構成員：大学教員、市町村教委、中学・高校校長
県教委教育次長
- 3 議 題：学びの多様化学校について、他県事例の紹介
学びの多様化学校の設置イメージ等
- 4 主な意見
定時制・通信制等も含めた進学先の提示、入試制度、学習内容等について意見が出された。

学びの多様化学校の設置に向けてのスケジュール

R8.8～R9.1 学びの多様化学校設置検討会議開催
(設置校・教育課程・施設・入試制度等を検討)

R9.3 令和10年度新規指定申請

R9年度中 設置に向けた具体項目の詳細検討
中学生に対する周知
「学びの多様化学校」高校入試

R10.4 「学びの多様化学校」の設置